

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

脳心血管病予防に関する包括的リスク管理チャート 2019 年版について

脳心血管病協議会

日本内科学会雑誌 108 巻 5 号、2019 年発行

<https://www.naika.or.jp/wp-content/uploads/2019/05/931171726c735db126b4d9f25c8d737d.pdf>

■1 甘草

疾患:

薬剤誘発性高血圧 (副作用)

副作用に関する記載ないしその要約:

脳心血管病予防のための血圧管理 (管理目標を中心に) の二次性高血圧のスクリーニングの項に、下記の記載がある。

『薬剤誘発性高血圧: 基本は薬物使用歴の聴取である。甘草を含む漢方薬や健康補助食品による偽アルドステロン症は低カリウム血症も参考になる。』